ニイガタブックライト vol.04

「一箱古本市in万代島旧水揚場」 店主マニュアル

この度はニイガタブックライト「一箱古本市in万代島旧水揚場」にお申込 みいただき、ありがとうございました。お申込を確認させていただいた店主 様に送付しております。

ルールを守り、当日皆さんで楽しんでいただけるよう、こちらの「店主マニュア ル」をよく読んでからご準備・ご参加ください。 よろしくお願い致します。

ニイガタブックライト

お電話でのお問合わせ:090-3753-9545(亀貝太治)/025-201-7466(北書店・1左藤雄一) メールでのお問合わせ:kamegai@niigatabooklight.com →公式WEBサイト(「ニイガタブックライト」で検索)の「お問合わせ」より

準備編

【以下の持ち物を準備お願いします】

	古本 (スリップ(後述)の抜けがないか確認し	てください)	□ 予備	スリップ(後述)
	販売に必要なイス・テーブルなど(事務局ではお貸しできません)			
	本を入れる箱(材質などは自由です。)	□ 店名の看板·POP類·飾り		
	現金を入れるケース(身に付けられるものにしてください)			
	釣銭 (必須です/釣銭両替の用意は事務局にはありません。自己責任でお願いします(後述))			
] 寒さ対策! (ホッカイロ、掛け毛布など。 スキー場レベルの格好 なら安心です!)			
	その他販売する雑貨など (価格が分かるように)			
□「店主不在」「一時閉店」など お店を離れる時の看板、本に掛けておく「布」など				
	店主マニュアル ロ 私物を置く為の敷	物 口筆詞	用具	□ 電卓

a)本の冊数について

一度に販売できる冊数は、販売する「箱」に収まる数量までとします。また、この中に収まる限り、本以外の雑貨を販売してもOKです。

箱の中身が売れた場合の補充分は、自分で持てる限りなら、いくら持ってきてもOKです。 ただし、他の人のジャマにならないように置いてください。補充分を箱の外に置いたりし て同時販売するのは不可です。必ず、箱の中で下に敷くか、自分のスペース内で背面に置 くようにして下さい。(お1人様のスペースはおよそ左右1.5m×奥行2mです。)

b) 箱について

「箱」は、ダンボール箱、木箱、トランク、カートなど、両手で持てるサイズまでなら、何でもけっこうです。本棚や什器を足して、**高さを高くしても構いません**(危険のない程度に)。箱から飛び出る看板や手書きPOP、ペイントしたり小物で飾るなど、見た目に趣向を凝らす工夫は自由にやってください。畳める箱は持ち運びに便利です。ディスプレイのアイデアは、WEBサイト掲載写真なども参考になるかもしれません。独自のしおりやおまけ等を付けるのも楽しいです。**箱を載せるテーブルや、座るイスなどはすべて各自で準備ください。事務局側では用意がありません。**

c) スリップについて

【スリップとは?】

出店する本には、各自が屋号・書名・売価を書いた「スリップ」を挟み込んでいただきます。「スリップ」とは、新刊書店の本に挟まっている書名や値段を書いた紙、二つ折りでページに挟み込まれている、アレです。本が売れた場合、スリップを引き抜いて、本だけをお客様にお渡しします。スリップのサイズは自由ですが、4.5×24センチが目安。面倒であれば二折でなくとも、しおりのようなものでも、



- ●また、スリップは、店主各自の売上げ集計に必要なものです。(販売終了時には、売上げ冊数と合計金額を記入した**「売上集計用紙」を提出**していただきます。)スリップがないと、売上げ集計の確認が大変になります。
- ●スリップは本をお買い上げのお客様には渡りませんので、スリップを名刺代わりに、 とお考えの方は、スリップとは別に、オリジナルの栞などを挟んでおくとよいかもし れません。

ポストイットに価格を記すだけでも構いません。

- ●「予備スリップ」の用意について: スリップ紛失や、本の補充の際に白紙のスリップがあると便利です。
- ●本は手許に残りませんが、スリップは残ります。後々想い出にもなりますので、ぜひ 書名入りスリップの制作をオススメします。他にオリジナルブックカバーなど、アイ デア次第でさまざまに一箱古本市を楽しんでください。
- ●何らかの理由でスリップ付けができない場合でも、当日お渡しする「売上集計用 紙」に必ず、当日の売上げ、売上げ冊数をご記入し、お帰りになられる前にス タッフまでご提出下さい。

d) 値付について

値付は店主が自由に行ってください。集計の関係上、最低10円単位としますが、釣り銭対 応が煩雑になるのを避けたければ**100円単位の値付をオススメ**します。

e) 釣り銭について

当日のお会計は、すべて参加店主の自己責任でお願いしています。充分な釣り銭のご用意をお願いします。申し訳ございませんが、**事務局での両替はいたしておりません**。

釣り銭の目安(あくまで一般的な目安です) 合計 ¥25300

1000円札:20枚程度 500円玉:4枚程度 100円玉:30枚程度 10円玉:30枚程度

値付の際に、10円単位を無くし最低でも100円単位にすると、釣り銭の対応が格段に楽になります。オススメです。

f) 一箱の事前送付について

古本の入った箱を、事前に北書店に送っていただくことができます。(送料はご負担ください) 以下の宛先に、**11/17(土)着指定**にてお送りください。

当日朝9:00頃に現地に運んでおきます。

〒951-8124 新潟市中央区医学町通2番町10-1 ダイアパレス医学町101 北書店 「一箱古本市取り置き」係 11/17(土)着指定 TEL:025-201-7466



当日編

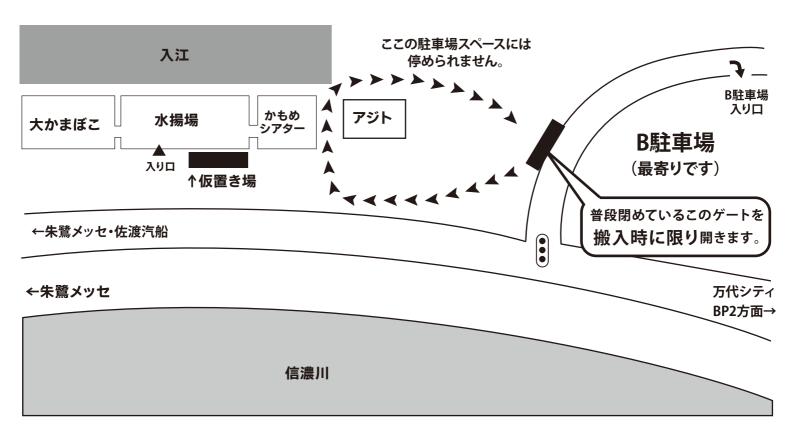
いよいよ当日です。朝9:00から受付を開始します。雨天決行です。

【タイムテーブル】

- 9:00 店主集合・受付・参加費¥1000徴収・(ネームカード・売上集計用紙・アンケート配付) ~販売場所への移動、箱の設置、販売開始準備
- 10:00 販売開始
- 15:45 各自売場にもどる
- 16:00 販売終了(売上集計用紙・アンケート回収)箱の片付け後、いったん解散
- **16:45** 表彰式&トーク(会場2階「シェアキッチン」にて)
- 18:00 同会場にて、懇親会(会費2,500円)開始
- 20:00 終了·解散

a) お車での搬入路について

朝の搬入時に、一時的に会場近くまで車を入れていただき、仮置き場に荷物を置いていただくことができます。会場内は一方通行とさせていただきますので、現地での指示に従い通行してください。(終了後の**搬出時には車の乗り入れはできない**予定です)



b) 駐車場について

お車でお越しの場合、駐車場は近隣の有料駐車場をご利用いただくことになります。 会場である水揚場の最寄り駐車場は、**朱鷺メッセ駐車場の「B」**です(巻末地図参照)。

「C」も同じ位の距離ですが、現在は「思いやり駐車場」となっており、車に利用証を貼っておかないといけないようです。朱鷺メッセ駐車場は最初の60分無料、以後30分ごとに100円となっています。

(朝の搬入路の途中に駐車場がありますが、こちらは水と土の芸術祭スタッフ専用駐車場となっています。停めることはできません。)

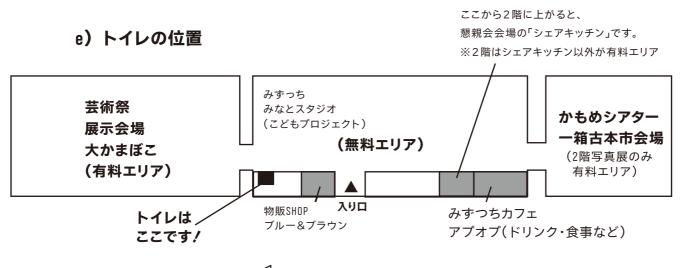
c) 販売準備について (9:00~10:00)

販売場所は受付を終了された店主様からご自由に選んでいただきます。

会場ののマーキング(予定)に従い販売場所を決めてください。販売開始は10:00です。 **店名が分かるように、できるだけハッキリと店名の書かれた掲示**をお願いします。

d) 店番の仕事について(10:00~16:00)

- ●休憩や店を離れる時は、お持ちの布などを箱にかぶせ「休憩中(○○時に帰ります)」などお知らせを掲示してください。
- ●売上げやスリップの管理は暇を見つけてこまめに記入することをお薦めします。売上げの集計は意外と手間がかかります。販売終了時にはすみやかに「売上集計用紙&アンケート用紙」の記入、提出ができるよう、お願い致します。
- ●昼食も各店主の判断でお願いします。会場での食事販売は東中通のカフェ・マリールゥのお弁当「車麩のタレカツ丼」と、「みずつちカフェ:アプオプ」での各種メニューがあります。朱鷺メッセの方にはラーメン屋さんが数店舗集合しています。会場でのドリンク類の販売は基本的に「アプオプ」のみです。



f) 撤収について(16:00~)

(時間前に売る物がなくなったら閉店も可能です。売上集計用紙とアンケートを事務局に提出ください)。

15:45になったら、各自の売場に戻ってください。

16:00になったら一斉に販売を終了します。**売上集計用紙とアンケート用紙に必要事項を記入、提出して下さい**。ネームカードを返却し、箱と本を片付け、周囲のゴミを拾ってお持ち帰りください。打上げイベントまでいったん解散となります。

搬出時の車の乗り入れについて:現在交渉中ですが、芸術祭の開催時間内のため、朝の搬入時のみ可能だった**会場前までの車の乗り入れはできない**予定です。

その点朝の搬入時とは異なりますので、何卒ご了承ください。

g) 打上について(16:45~)

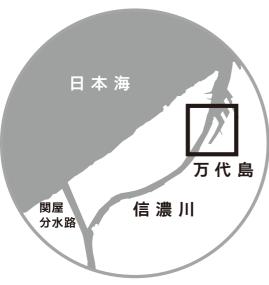
カフェ・アプオプ脇から2階に上がった先の「シェアキッチン」で、16:45より表彰式&トークを開催します。一階のかもめシアターには荷物を置いておくことができませんので、その時点で搬出されない方は「シェアキッチン」までお持ちください(仮置き場を作るかも知れません)。その後18時頃から、会費2500円の懇親会を開催します。料理&ドリンクはカフェ・アプオプさんです。(ご自分の飲み物程度の持ち込み0Kです)

この懇親会に参加される場合は、できるだけ11/15頃までにご連絡(メール・電話)ください。

h)寒さ対策・その他

- ●会場は、もともと魚の水揚げを行っていた建物です。入江に面していて壁はなく、入江からの風も入ってきます。古本市会場には暖房はありません。**寒い日はかなり厳しい気温になりそうです**。是非暖かい格好でお越しください。スキーウェアレベルの格好なら万全です。
- ●荷物はお一人のスペース内におさまるようにお願いします。
- ●**店主用の控室を用意し、ある程度の暖房をしてあります。**ぜひご利用ください。
- ●お客さんには丁寧に対応するようにしましょう。
- ●ゴミは各自で持ち帰ってください。

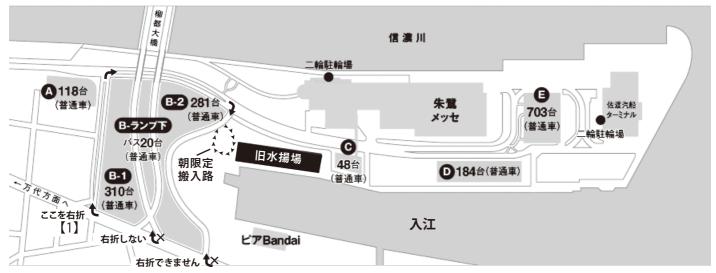
この度はご出店のほど、本当にありがとうございました。 新しい場所での一箱古本市が、素敵な一日になることを願っています。 今後とも、ニイガタブックライトをよろしくお願いいたします。



現地地図・交通のご案内

会場は、信濃川河口の朱鷺メッセの斜め向いです。 信濃川より入り込んだ入江に面しています。 ピアBandaiとは、入江を挟んで反対側の位置です。 最寄りの有料駐車場は朱鷺メッセ駐車場「B」です。

「C」も近いですが、現在は利用証が必要な「思いやり駐車場」となっています。



※A~Dは朱鷺メッセ有料駐車場の記号です。

【お車の場合・バイパスから】

■新潟バイパス紫竹山ICから日本海方面へ曲がります(栗の木バイパスを進む)。3km進むと突き 当たるので左折。ピア万代を右手に越えた後、柳都大橋への右折車線に入らないよう通り過ぎ て(柳都大橋へ右折すると、信濃川を渡ってしまいます)、その先の「朱鷺メッセ方面」への信号 を右折します(図内【1】)。突き当たったら右折し、橋の下をくぐり、最初の信号を右折するとすぐ 左手に搬入路の入り口があります。(紫竹山ICより非渋滞時で約15分)

【お車のご案内・その他】

■古町ネクスト21から約10分/万代ビルボードプレイスから約5分/新潟駅から約10分

朱鷺メッセ駐車場料金:最初の60分無料、以後30分ごとに100円

【バスの場合】

- ■バス1:「佐渡汽船線」万代ロバスターミナル5番線から「佐渡汽船」行きで10分、「朱鷺メッセ」下車・徒歩3分
- ■バス2:「新潟空港線/松浜線/臨港線」万代口バスターミナル6番線から「新潟空港/松浜/北葉町」行きで約10分、「宮浦中学前」(ピアBandai前)下車・徒歩5分

【タクシーの場合】

新潟駅万代口タクシー乗り場より乗車、1000円程度。

※公共交通機関ご利用の店主様は、「キャリーカート」などで本を運ぶと便利です。



一箱本送り隊へ送る本を集めます。

「一箱本送り隊」とは…

一箱古本市のノウハウとネットワークを生かして、東北大震災の被災地で「求められている」本の情報を集め、「本好きのプロ」の目線でセレクト、リクエストに応じて「本が読みたい!」という被災地の皆さんに送るプロジェクト。手に取った被災地の方々に思いも届くように、箱ごと、本ごとにPOPやメッセージなどもつけ、仮設住宅、避難所、各種イベントなどで配布したり、届けたりします。一箱古本市の本家「不忍ブックストリート」を中心に、各地のブックイベントの有志をネットワークして、本や資金を集めています。

詳しくは「一箱本送り隊」の公式ホームページをご覧ください。

ニイガタブックライトでは、昨年に引き続き、 「一箱古本市in万代島旧水揚場」の店主様や関係者より 一箱本送り隊へ提供する古本を集めます。

「一箱古本市in万代島旧水揚場」に出店される店主の方で、一箱本送り隊へ送付する本を提供したいという方は、**11月18日当日、**一**箱古本市の受付までお持ちください**。その際に「一箱本送り隊用」などの目印を付けていただけると助かります。

ご協力、何卒宜しくお願いいたします。

